



# 校長室通信

小国町立小国中学校

令和 4. 2. 4 (金) No30

文責 狭間卓史



## いちげつに にげつに さんげつさ 「一月往ぬる二月逃げる三月去る」

毎年、この季節になると、「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る」という言葉を聞く機会が多くなります。この言葉については、説明の必要が無いほどそのままの意味ですが、一月から三月にかけての時期は、年度末としての一年間のまとめの時期であり、それは同時に新しい年度の準備の時期でもあることから、何かと慌ただしく月日があっという間に過ぎてしまうことを例えた言葉です。この時期の気ぜわしさは昔も今も変わらないということなのでしょうが、歳を重ねれば重ねるほどこの言葉どおりだと実感する昨今です。気がつけば二月、そして今日は立春。素敵な春を迎えたいものです。



【 9年生 中学最期の定期テスト 】

## 「 思いを引き継ぐ 」

1月27日に生徒会専門委員会の引継ぎ式を行いました。本来であれば全学年を集めて開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策として該当生徒と9年生だけをランチルームに集め、8・7年生は各教室に待機してオンラインでの参加でした。

今年の9年生も昨年度の引継ぎ式を振り返ればコロナ禍での引き継ぎであり、結局この一年間、その状況が変わることはありませんでした。それでも、そういう厳しい状況にあっても、その時々で出来ることを探し、歩みを止めることがなかった一年間でした。制約が多かった期間でしたが、こういう状況はこれからも幾度となくあり得ることかもしれないと考えたとき、このコロナ禍の現状は、柔軟な考え方や対応力を鍛えてくれる機会だったとも思えますし、そう思わせてくれる程の歩みを見せてくれた9年生でした。その9年生の背中を見つめ続けた8年生・7年生がこれからどんな小国中を築いていこうとするのか、すでにワクワクしています。



## 「 ご協力をお願いします 」

2月4日現在、9年生の約3分の2の生徒がこの春からの進路を決定済みです。9年生全員が希望の進路を実現するために、その受検(験)に万全の体調で挑んでほしいと願うばかりです。本校でも9年生への支援として全校を挙げて感染対策に努めているところです。

しかしながら、その一方で、どれだけ対策を講じたとしても感染のリスクは拭えません。いつ、どこで、誰が感染してもおかしくない現状です。万が一の場合は、まずは安心して休み、回復に努めてください。学級・学年閉鎖や休校の場合、体調の心配がない生徒に対してはオンライン等での学習の機会を確保する予定ですが、その準備についてもほぼ完了しています。今週末も感染者の増加が予想されています。くれぐれも用心してお過ごしください。

なお、生徒本人はもちろんのこと、同居のご家族が PCR 検査等の新型コロナウイルス感染症の感染判定検査を受けられる場合は、必ず学校までご連絡をお願いします。時間外や土日のご連絡先は「安心安全メール」でお伝えしたメールアドレスをお願いします。

